



《移動図書館巡回日》



場所	日にち	時間
島コミュニティセンター	3月4日(水)	10:30~11:00
老蘇コミュニティセンター		11:30~12:00
フレンドマート安土店		13:30~14:00
サン・ビレッジ近江八幡		14:30~15:00
フレンドマート八幡鷹飼店		15:30~16:00
武佐コミュニティセンター	3月5日(木)	9:30~10:00
馬淵コミュニティセンター		10:30~11:00
北里コミュニティセンター		11:40~12:10
金田コミュニティセンター		9:30~10:00
桐原コミュニティセンター	3月6日(金)	10:30~11:00
岡山コミュニティセンター		11:30~12:00

★4月から、島コミュニティセンターが第1金曜日 9:30~10:00、金田コミュニティセンターが第1水曜日 10:30~11:00 になります。

〔近江八幡図書館〕

〈電話〉0748-32-4090 〈FAX〉0748-32-4099

開館時間：午前10時～午後6時

〔安土図書館〕

〈電話〉0748-46-6479 〈FAX〉0748-46-6591

開館時間：午前10時～午後6時

ホームページも
ご利用ください！



近江八幡市立図書館だより

としよかん

2026.3 March

167号

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
1	2 八幡休館	3 両館休館	④ 安土休館	5	6	7
8	9 八幡休館	10 両館休館	11 両館休館	12 八幡休館	13 八幡休館	14 八幡休館
15 八幡休館	16 八幡休館	17 両館休館	⑱ 安土休館	19	⑳ 安土休館	21
22	23 八幡休館	24 両館休館	㉕ 安土休館	26	27	28
29	30 八幡休館	31 両館休館				

□…近江八幡館休館 ○…安土館休館 ■…両館休館

※近江八幡館は蔵書点検のため、3月9日(月)～17日(火)は休館させていただきます。

今月の展示

【あなたの伸びしろまだまだあります】

新しいことを始めたり、学びなおしたり。まだまだあなたの伸びしろはあるはず。この春、いろんなことに挑戦してみませんか？

【この言葉、気になります！？】

新しく生まれる言葉や使われなくなった言葉。コミュニケーションツールとしての言葉。そんな、言葉にまつわる本を集めました。

図書館の本棚より

『レペゼン母』 宇野 碧/著（講談社）

田舎で梅農場を経営するおかん、深見明子。明るくたくましく人に慕われている明子ですが、彼女には大きな悩みがありました。



それは女手一つで育ててきた息子、雄大のことでした。明子の思いとは裏腹に、家業を早々に投げ出し、無謀にも選挙に出馬した彼は、落選の結果を知るや否や借金だけを残して失踪してしまいます。そんなどうしようもない息子がラッパーとなり、大会に出場することを知った明子は、30年間積もりに積もった思いをぶつけるため、自分もマイクを握ることを決意します。

明子の口から出てくるラップは初心者とは思えないほど痛快で、気持ちよく読むことができます。しかし何より魅力的なのは互いにぶつかりながらも一人の人間として向き合っていく親子の姿であると感じました。（萩山）

『訳して、書いて、楽しんで』

村井 理子/著（CCC メディアハウス）



みなさんは、村井理子さんをご存知ですか？琵琶湖の西側（大津市）に住んでいる、今人気の翻訳家で、多くのエッセイも書いています。昨年には『兄の終い』という自伝的なエッセイが映画にもなりました。本書は、そんな村井さんの、翻訳家という仕事とその日常について語ったエッセイです。

翻訳家としての第一歩は、20代の頃、当時の米大統領ジョージ・W・ブッシュの発言を綴ったブログでした。それが『ブッシュ妄言録』として出版され、翻訳家として認められ、現在まで翻訳をずっと続けることになります。その原動力は、「人を笑わせたい」、「文章・翻訳がうまくなりたいたい」、というあくなき願いでした。自身を「仕事中毒」と言いながらも、楽しみながら書き続ける著者に、エールを送りたくなります。（世古）



新しく入った本



タイトル	著者	出版社
本を楽しむ教科書	大島 梢絵	ナツメ社
豊臣秀長の真相	太田 浩司	サンライズ出版
エコロジー社会主義に向けて	トマ・ピケティ	みすず書房
学力よりコミュカ	菅 広文	PHP研究所
病気と折り合う芸がいる	養老 孟司 中川 恵一	エクスナレッジ
炎上で世論はつくられる	山口 真一	筑摩書房
世界はいつまで食べていけるのか	バーツラフ・シュミル	NHK出版
ときには恋への招待状	最果 タヒ	河出書房新社
わたしが戦場にいる	小手鞠 るい	偕成社
分水	今野 敏	新潮社
被告人、A I	中山 七里	小学館
叫び	畠山 丑雄	新潮社
生きとるわ	又吉 直樹	文藝春秋
おまあ推理帖	諸田 玲子	文藝春秋
60代、日々好日 時々ため息	唯川 恵	光文社

新しく入った本の中から、一部を紹介します。

貸出中の本は、予約していただけます。図書館のカウンター、館内検索機、電話、FAX、ホームページでお申込みください。